

MATSUI

電動 丸太はつり機

型式:LS-301

取扱説明書



二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示される安全マークで、接地[アース]しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびはマツイの「丸太はつり機」をお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願いします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



株式会社


松井鉄工所


主要機能


主要機能	モデル	LS-301
電圧		単相 100V 50/60Hz
電流値		15A
消費電力		1430W
刃物回転数		12000min ⁻¹
切削幅		136mm
使用カッター		35×35×5mm (ハイス鋼) 4 枚
全長		800mm
重量		8kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がございますので、ご了承ください。

注意文の 警告 注意 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、完全にご理解頂くまでは機械を作動させないでください。
- 火災・感電・怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」をお読みの上、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- この取扱説明書は機械を使用される方がいつでもご覧になれるところに保管してください。
- 本機を絶対に改造しないでください。



1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手が届かないよう錠のかかるところに保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業にあった電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業して下さい。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑りどめのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



9. **保護めがねを使用してください。**
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. **加工するものをしっかり固定してください。**
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
14. **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグから電源を抜いてください。**
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等、付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. **調整キーやレンチ等は、必ず取り外してください。**
 - ・電源を入れる前に、調整に用いたレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. **不意な始動は避けてください。**
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイアコード又はキャブタイアケーブルの延長コードを使用してください。
18. **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。

警告

19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付状態その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

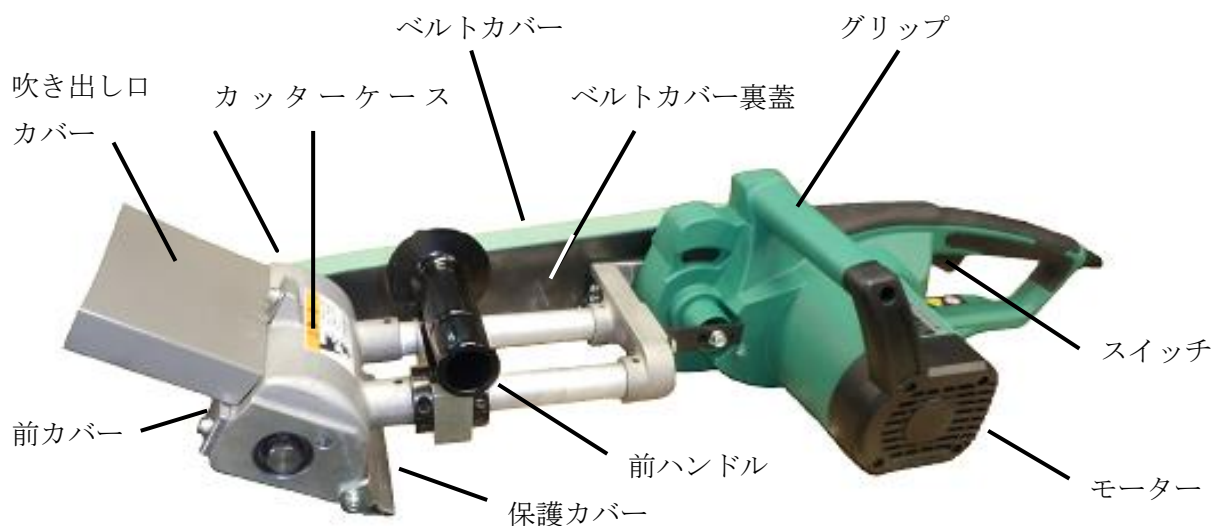
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門家に依頼してください。

- ・修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

各部の名称および通常付属品



・付属品

- ・ボックスレンチ (13mm)
- ・六角レンチ (4mm、5mm)
- ・刃高調整用セットピン
- ・刃高調整ゲージ
- ・吹き出し口カバー

丸太はつり機使用上のご注意

- 先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、丸太はつり機としてさらに次に述べる注意事項を守ってください。

1. 作業場所に関するご注意



- ・雨の中、ぬれた場所では使用しないでください。
モーターの電気絶縁性を弱め感電事故の恐れがあります。
- ・使用する時は、作業場所周辺に人を近づけないでください。
切りくずが飛び散り、怪我の恐れがあります。
- ・使用する場所は水平な所で常に安定した状態で使用出来る場所を選んでください。
- ・使用する場所の周辺は必ず予め整理整頓し、高速で回転するカッターブロックやベルトに巻き込まれやすいポロ布や紐などは絶対に置かないでください。

2. 作業者ご自身に関するご注意



- ・疲労時や体調の思わしくない時は使用しないでください。
とっさの判断が出来ず怪我の恐れがあります。
- ・必ず保護メガネを着用して作業してください。
- ・体にあった適切な作業衣を着用し、アクセサリ等の装身具は着用しないでください。

3. 使用目的



- ・指定した使用目的以外には絶対に使用しないでください。
大事故につながり、怪我の恐れがあります。
- ・本機は、主に丸太の皮剥ぎや丸太のつか場ならし等の荒取りを行うために作られたものです。

4. 使用前の準備

- ・梱包箱より製品を傷つけないよう取り出してください。
- ・製品の輸送中に各部のネジが緩んだりしている可能性がありますので、緩みや外れなどがなければ調べてください。
- ・スイッチが確実に切れるかどうか確認してください。

5. 刃物の点検

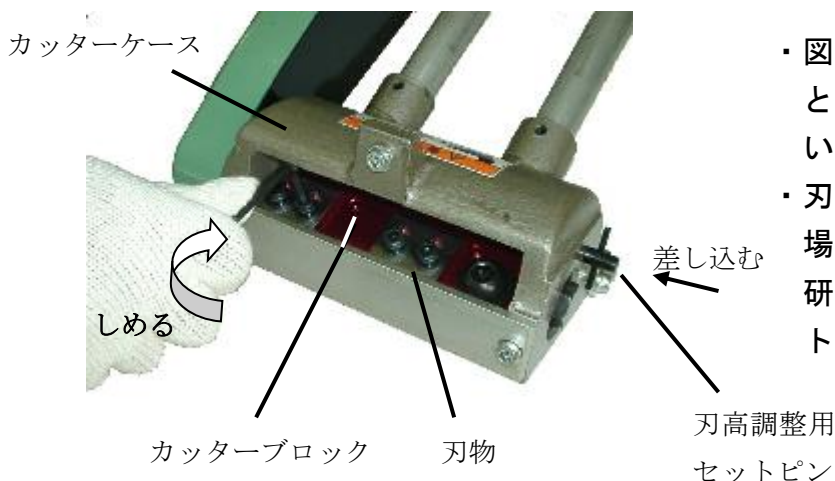
警告

- ・ ご使用前には必ず刃物取付けボルトが緩んでいないかを確認してください。
緩んでいると刃物が飛び怪我の恐れがあります。
- ・ 刃物に傷、ひび割れ等がないか確認してください。
刃物が破損し、怪我の恐れがあります。

注意

- ・ 刃物を手で扱う時は、必ず手袋をはめて作業してください。
刃が手に触れて怪我の恐れがあります。

- ・ 刃物がカッターブロックに固定されているか確認します。



- ・ 図のように六角レンチできちんと締付けてあるか確認して下さい。
- ・ 刃物締付けボルトが緩んでいた場合は、後記の「刃物の交換・研磨方法」に従い、刃物をセットし直してください。

【注記】 このボルトは刃物の固定を確実にするために特殊なボルトを使用していますので、交換の際は必ず純正部品をご使用ください。

6. 加工材の点検

警告

- ・ 加工材切削面から釘などの金属片や砂、小石などの異物がないように完全に取り除いてください。
異物などが残った状態で加工しますと飛び散る破片や石で怪我の恐れがあります。。

【注記】 切削面に異物があると刃物に変形して使用不能となる恐れがあります。

- ・ 加工材は固定し、動かないようにしてください。
- ・ 加工材は水平な場所に安定させ、作業し易い高さに置き足場を整理して下さい。

7. 吹き出し口カバーの取付け

- ・ ご使用前に必ず付属の吹き出し口カバーを取付けてください。
- ・ 図のように前カバー取付けボルトをいったん取外し、吹き出し口カバーを取付けてください。



【注記】 取付けの際、元々付いていた前カバーは、必ずもとの通り取付けてください。

使用方法

1. 電源の接続

警告

- ・ ぬれた手で電源プラグを触らないでください。
感電事故となる恐れがあります。
- ・ 使用電源は銘板に表示された電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、事故となる恐れがあります。
- ・ 始動スイッチが切れていることを確認してください。
- ・ 電源コードが傷んでいたり、電源プラグが変形していないかを確認してください。
- ・ 以上のことを確認したのち電源プラグをコンセントに差し込んでください。

【注記】 電源が離れていて中継コードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくための十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1. 25 mm ²	10 m
2. 00 mm ²	15 m

使用出来るコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

2. スイッチの操作

警告

- ・ スイッチを入れる前に、刃物調整時に使用する刃高調整セットピンが抜いてあることを必ず確認してください。
セットピンが飛び散り怪我をする恐れがあります。

警告

- ・ カッターブロックなどの回転部や刃物類が加工材に当たっていないか確認してください。
物が当たった状態でスイッチを入れ機械を作動させますと反発で機械が跳ねあがり怪我をする恐れがあります。
 - ・ スイッチを切っても刃物は惰力で回転しますので、確実に回転が止まるまでは油断せず作業中の姿勢を保ってください。
思わぬ事故となる恐れがあります。
- ・ 本機は、スイッチを押すとモーターが回転し、ベルトが駆動することによりカッターブロックが高速で回転する仕組みとなっています。
また、スイッチを離すとモーターの回転が停止します。
その際、カッターブロックはスイッチを切ってもすぐに回転は止まらず、惰性で回転していますので注意してください。

3. 切削方法

警告

- ・ 作業中は絶対に手や足をカッターブロック周辺に近づけないでください。
刃物が高速で回転しており、重大な事故につながる恐れがあります。
 - ・ 作業中は作業場所周辺に人近づけないでください。特にお子様には注意してください。
切りくずが飛び思わぬ怪我の恐れがあります。
 - ・ 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常を感じたときは直ちにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用していると怪我の恐れがあります。
- ・ カッターブロックの回転が十分に上がってからゆっくりと切削面に降ろしてください。
- ・ 作業は図のように両手で保持し、本体のグリップ（スイッチ側）を切削面に対して約30度の角度に持ち上げた状態で切削してください。
- ・ 刃物の切削方向は図の矢印のように、作業者の遠い方から手前に引くことにより切削します。



- ・スイッチ側でない方のグリップは、本体と前ハンドルの2つありますので、状況によって使い分けてください。前ハンドルは前後のセットカラーのボルトを緩めれば位置を変更することができます。位置を決めたあとは忘れずにセットカラーで固定してください。



- ・刃物は常により切れ味のものでご使用ください。切れ味の悪くなった刃物は早めに刃物を研磨するかもしくは交換してください。
- ・刃物の交換方法及び研磨方法は、後記の刃物の交換・研磨方法に従ってください。

保護カバーの調整

警告

- ・機械の調整等をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
刃物が突然回転し、怪我をする恐れがあります。

- ・保護カバーが物に強く当てたりして変形していないことを確認してください。
- ・付属品の六角棒レンチを使用して保護カバー締付けボルトを緩め、使用条件（切削深さ）に応じて、保護カバーの角度を調整することができます。
- ・角度の調整は、皮むきなど深削りの時はカバーの角度をねかせ、浅削りになるに従ってカバーの角度を立ててください。
- ・表面仕上げの時など薄く削る場合には、保護カバーを図のように回転させて刃物を浮かせてご使用ください。



使用後の手入れ・保管

1. 電源を切る

- ・ご使用後は、必ず電源プラグを抜いてください。



- ・濡れた手で電源プラグを触らないでください。
感電事故となる恐れがあります。

2. 機械の手入れ

- ・ご使用後は、機械を清掃し切りくずを落としてください。
- ・いつでもきれいな状態で使用できるように普段からこまめに手入れしてください。

3. 保管場所

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い場所又は鍵の掛る所に保管してください。

刃物の交換・研磨方法

- ・刃物の切れ味が悪くなったときは直ちに刃物を研磨するか又は交換してください。

1. 刃物の取り外し方



- ・刃物の交換作業をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ事故の恐れがあります。



- ・刃物を手で触る時は、必ず手袋をはめて作業してください。
刃が手に触れて怪我の恐れがあります。

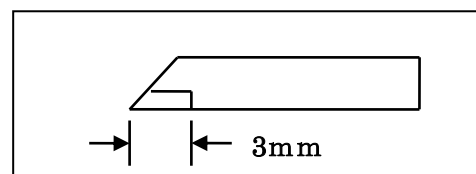
- ・本機を水平な作業台にのせて安定した場所で作業してください。
- ・カッターハウジングの2本の前カバー取付ボルトを付属の六角棒レンチ（5mm）で取り外し、前カバーを取り外してください。
- ・付属の刃高調整セットピンをカッターハウジングのピン穴からカッターブロックのピン穴の奥まで確実に差し込んでカッターブロックを固定してください。

- ・ カッターブロックの刃物締付けボルト（刃物1枚につき2本）を六角棒レンチで取り除いてください。
- ・ 次に刃高調整セットピンを抜いて、カッターブロックを180°回転させ、再びセットピンを差し込み同じ要領で刃物を取り外してください。



2. 刃物の研磨

- ・ 刃物はハガネ幅が3mmになったら交換してください。



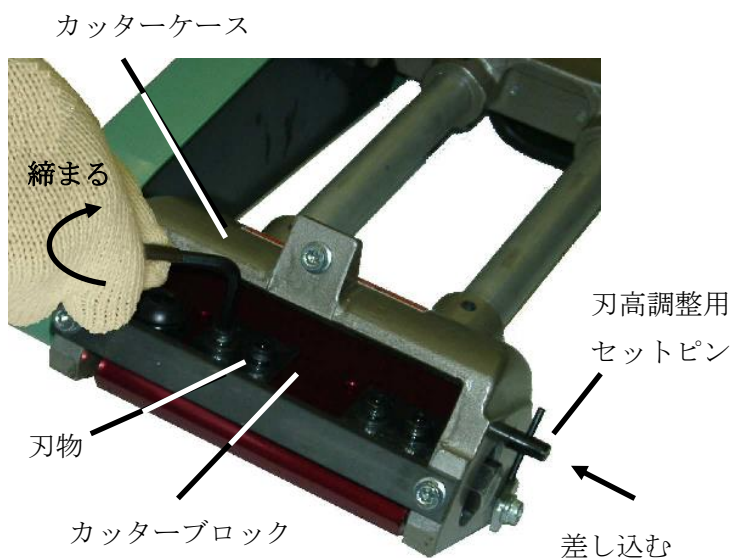
⚠ 注意

- ・ 刃物を研磨する時は、4枚の刃物が必ず同一寸法、同一重量になるようにしてください。同一の物を使用されないとカッターブロックに振動がおき故障の原因となります。

- ・ 刃物研磨角度 55°
- ・ 純正以外の刃物は絶対に使用しないでください。

3. 刃高調整・刃物の取り付け方

- ・ 刃物を取付ける前にカッターブロック及び刃物の取付面に木くずがついていないように掃除してください。
- ・ 付属の刃高調整ゲージをカッターブロックの前カバーが取付けてあった位置に、ボルトで固定してください。
- ・ 次に刃高調整セットピンを差し込み、カッターブロックを固定した上で、刃先を刃高調整ゲージに軽く当て刃物を取り外した時の逆の要領で2枚の刃物を刃物締付けボルト（純正品）で確実に締付けてください。
- ・ カッターブロックのもう一方の面に刃物を取付ける時は、刃高調整ゲージが刃物に当たらないようにして、カッターブロックは180°回転させて、同じ要領で刃物を取付けてください。



- ・刃物を取付けた後は、刃高調整ゲージを外し、あらかじめ付いていた前カバーを取付けてください。

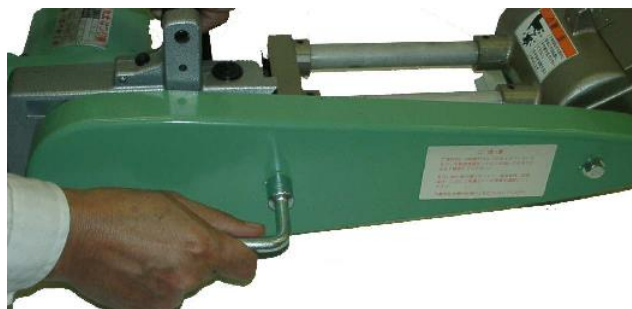
【注記】最後に刃物締付けボルトが緩んでいないか、刃高調整セットピンが抜いてあることを再度確認してください。

ベルトの張り調整

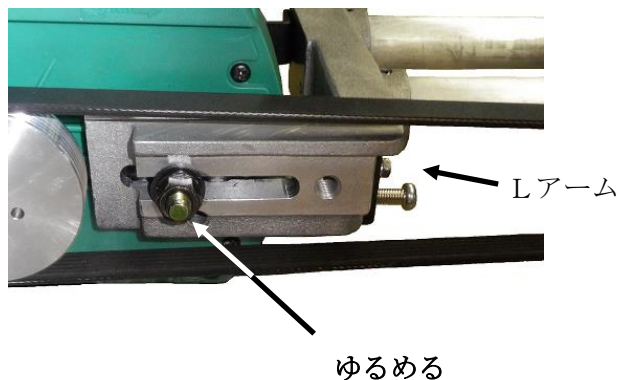


- ・ベルトの調整をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故の恐れがあります。

1. ベルトカバーを取り外す。
 - ・ベルトカバーを締め付けている2本の六角ボルトを付属のボックスレンチ（13mm）で取り外してください。

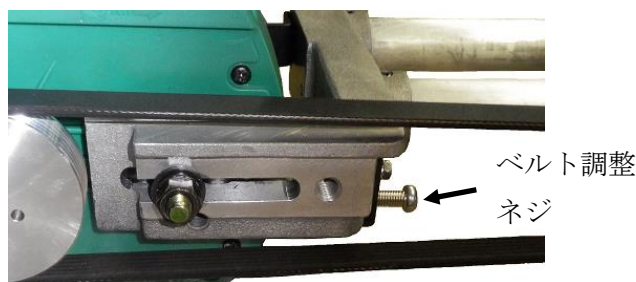


2. Lアームを締め付けている六角ボルト（2か所）を緩めて下さい。

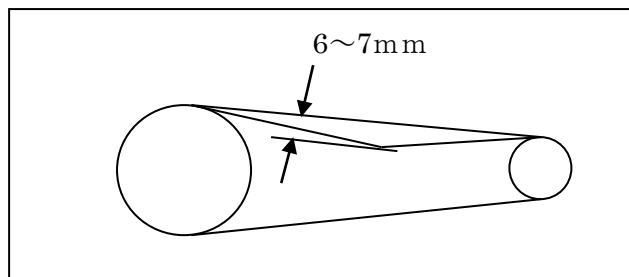


3. ベルトの張り調整

- ・Lアームの下側にあるベルト調整ネジを、ドライバーで回しながらベルトの張りを調整してください。この時、右に回すとベルトの張りは強くなり、左に回すとゆるくなります。



- ・ベルトの張りは大小2つのプーリーの間を軽く（荷重1kg程度）押した時のたわみ量が6～7mmになるのが最適です。



4. Lアームを締付けている六角ボルト（2か所）を確実に締付けてください。



- ・ベルトの張り調整後は、Lアームを締付けている六角ボルトをボックスレンチで確実に締付けてください。
思わぬ事故の恐れがあります。

5. ベルトカバーを取付けてください。

- ・その際、ベルトカバーの裏ぶたも必ず同時に取付けてください。

保守・点検について



- ・点検、整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や事故の原因となります。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術の無い方が修理しますと、故障の原因となり怪我の恐れがあります。
- ・メーカーの許可のない機械の改造は行わないでください。
思わぬ事故の恐れがあります。

1. カーボンブラシの点検・交換

- ・カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと火花が多くなり、モーターの故障の原因となりますので、カーボンブラシが短くなりましたら、左右同時に新品と交換してください。新品と交換する際は、当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



MATSUI IRON WORKS CO., LTD.

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町 70 番地

TEL : (0596) 36-3346

FAX : (0596) 36-3598